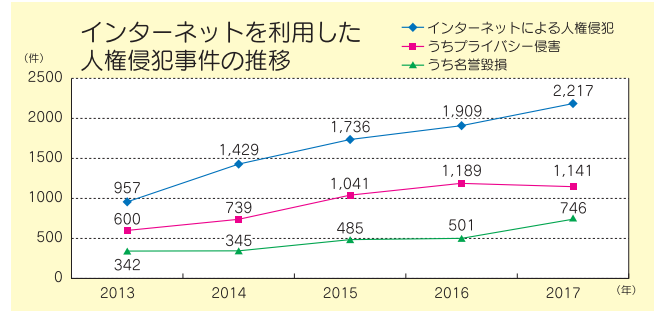
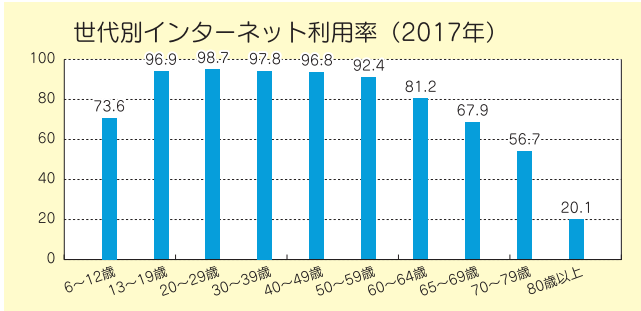


# 個人情報大切に - インターネットによる人権侵害 -



インターネットによる電子メールやホームページ、電子掲示板などは、情報発信が技術的・心理的に容易にできるといった面があり、さらに、匿名性が高く、人の表情が見えないために表現が過激になりがちです。例えば、他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現等の個人や集団にとって有害な情報の掲載、少年被疑者の実名・顔写真の掲載など、人権にかかわる問題が発生しています。

また、一旦インターネット上に掲載された情報は、次から次へと容易に転載されるために、問題が大きくなる場合もあります。情報化が進み、あらゆる情報が電子データにされていますが、「部落地名総鑑」のような差別的な図書もデータ化され、瞬時にばらまかれる危険性もあるのです。

最近では、スマートフォンや携帯電話を所持する子どもが増えており、「使いすぎ」や「無料通話アプリによるいじめ」などが問題となっています。

## そんなつもりじゃ・・・?

何気ない書き込みなどが意図せず広まり、誰かを傷つけ、時には加害者になるかもしれません。一時的な感情やストレス発散のために書き込んでしまった言葉は、後悔しても取り消せないのです。言葉はインターネット上と心の中に残り続けます。たとえ書き込みは削除できたとしても、広まった言葉と誰かを傷つけた事実が、被害者だけでなく加害者も一生苦しめることになるのです。



## スマホの向こうにも人がいる

相手を傷つけないためにも、自分自身を守るためにも、情報を発信する前には「その情報に責任がもてるのか」「その情報を見た人がどう感じるのか」を考えることが大切です。さらに、インターネット社会は現実社会とつながっているという認識を持つとともに、パソコンや携帯電話の向こうにも相手がいることを想像することが必要です。

## 心豊かな生活につなげるには

すべての人の生活を明るく心豊かなものにするために、インターネットとの関わり方を見つめなおし、本当の意味での快適な情報化社会を築くことが今わたしたちに求められています。